

盛岡市国土強靱化地域計画  
実施予定事業一覧

(令和5年度版)



■ 個別施策分野（※リスクシナリオごとの対応方策を個別施策分野ごとに再整理したもの）

① 行政機能・情報通信・防災教育

施策項目	NO.	事業名	事業概要
公立学校施設・公立社会体育施設等の耐震化	1	図書館大規模改修事業	市立図書館（鉄筋コンクリート造3階建て・延床面積1,848㎡）の耐震化工事及び大規模改修工事を行います。
	2	盛岡市学校給食センター整備運営事業	盛岡市学校給食センターにおいて、運営事業者と災害協定を締結し、災害時に炊き出しが可能となる体制を整備します。
公共施設の老朽化対策	3	アセットマネジメント推進事業	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画及び実施計画に基づき、長寿命化工事等の進捗管理を行い、施設保有の最適化と長寿命化の推進を図ります。
避難場所及び避難所の指定・整備	4	トイレ改修事業	盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づく大規模改修のうち、設備・配管交換、手洗、内装、乾式化等のトイレ改修分のみを前倒して実施することにより、避難所としての機能向上を図ります。
自主防災組織の結成及び活性化支援	5	自主防災組織育成事業	自主防災組織の結成促進のため町内会等に防災資器材の配備を行うほか、自主防災推進員を派遣し、自主防災組織に対する各種訓練・講習を実施します。 また、「盛岡市地域防災リーダー養成講座」の開催等を通じ、自主防災組織や町内会などにおいて、中核となって活動する人材の養成を図ります。
防災人材育成			
携帯電話等エリア整備	6	通信対策事業	携帯電話エリア拡大を推進するため、市が整備した8個所の移動通信用鉄塔施設を管理しながら、不感地域のエリア整備状況を調査し、通信事業者へ整備の働き掛けを、岩手県を通じて進めます。
学校防災体制の確立	7	復興教育支援事業	いわての復興教育プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成します。
学校における継続的な防災訓練や防災教育等の推進			
「いわての復興教育」【そなえる】を核とした防災教育の推進			
市総合防災訓練の実施による関係機関との連携	8	総合防災訓練実施事業	大規模地震等による災害を想定し、「盛岡市総合防災訓練」（災害対策基本法及び盛岡市地域防災計画に基づき、地域住民参加のもとに、防災関係機関が一体となって、総合的かつ実践的な訓練を行うもの）を実施します。
孤立集落の発生を想定した防災訓練の実施・通信手段の確保	9	総合防災訓練実施事業（再掲）	大規模地震等による災害を想定し、「盛岡市総合防災訓練」（災害対策基本法及び盛岡市地域防災計画に基づき、地域住民参加のもとに、防災関係機関が一体となって、総合的かつ実践的な訓練を行うもの）を実施します。（再掲）
	10	土砂災害防止避難訓練	土砂災害に対する防災意識の向上と情報伝達及び避難体制の強化を図ることを目的として、土砂災害危険箇所を有する地区を対象に土砂災害防止避難訓練を実施します。
市庁舎の強化	11	庁舎管理事務	自家発電機室の防水フェンス設置及び自家発電機蓄電池交換を行います。
市の行政情報通信基盤の耐災害性強化	12	業務系システム支援事業	庁内LANに接続された業務系システムの運用を支援します。

施策項目	NO.	事業名	事業概要
地域コミュニティ活動支援	13	地域協働推進事業	地域コミュニティ活動の意識啓発として、情報誌・広報紙・HP・ポスター展示会・事例発表会による活動情報を発信します。また、地域づくりの担い手養成として、地域活動担い手養成講座・コミュニティリーダー研修会を開催するほか、地域の多様な主体が相互に連携・協力して行う地域づくり事業に対する補助金を交付することで、共助機能を担う地域コミュニティの強化を図ります。
文化財の防災対策	14	盛岡城跡保存整備事業	史跡盛岡城跡において、経年変化等による崩落の危険性が高い範囲の石垣変位量調査等を継続的に行い、変位量が多い箇所について石垣修復工事等を実施します。
	15	文化財保護事業	指定文化財の保存管理・活用等のため、文化財パトロール等の充実に努めます。 天然記念物の保存維持及び環境整備業務を行います。 市内に所在する旧宇津野発電所等の指定建造物の維持管理・公開等を行います。
	16	志波城跡管理運営事業	陸奥国最北端の国指定史跡志波城跡及び歴史公園「志波城古代公園」を広く歴史文化に親しみふれあえる場、歴史文化を生かした地域振興の場として、適切な修理・改修等の安全対策を推進します。

## ② 住宅・都市

施策項目	NO.	事業名	事業概要
住宅・ブロック塀等の耐震化	1	木造住宅耐震診断支援事業	木造住宅の耐震診断の実施を支援し、住宅の耐震化を促進します。
	2	木造住宅耐震改修支援事業	木造住宅の耐震改修工事費に対して助成を行い、住宅の耐震化を促進します。
	3	ブロック塀安全対策事業補助金	地震等により倒壊の恐れのあるブロック塀の撤去工事費に対して助成を行い、危険個所の減少を図ります。
大規模建築物の耐震化	4	耐震対策緊急促進事業	耐震診断が義務付けされた大規模建築物の耐震改修工事費に対して助成を行い、耐震化を推進します。
大規模盛土造成地の事前対策	5	盛岡市宅地耐震化推進事業	松園1箇所及び北松園1箇所の大規模盛土造成地について、変動予測調査（第二次スクリーニング）を実施します。
公共施設の老朽化対策	6	公営住宅ストック総合改善事業	老朽化した公営住宅ストックについて、効率的かつ円滑的な更新を実現するため、予防保全的な維持管理を推進することを目的とした「盛岡市市営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕を継続して行い、将来に向けたライフサイクルコストの縮減を図ります。
都市公園および緑地等の整備の推進	7	都市公園事業	災害時に避難場所や活動拠点として活用される公園整備を実施します。（岩山南公園、中央公園、高松公園）
公園の適正な維持管理	8	公園施設長寿命化対策支援事業	公園施設長寿命化計画に基づき老朽施設の更新を実施します。
空き家対策	9	空き家等適正管理事業	所有者等による対応が困難な空き家等については、国庫補助を活用した除却を図ります。
内水ハザードマップの作成	10	内水ハザードマップ作成	未策定地域の内水ハザードマップ作成及び市民への周知の徹底を推進します。

施策項目	NO.	事業名	事業概要
水道施設の計画的な老朽化対策・耐震化対策	11	上水道安全対策事業	浄水場水系間の相互応援を図る連絡管の整備を行なうとともに、長時間の停電にも対応できるよう浄配水場等施設の自家発電設備の整備を進めます。また、医療機関・要援護者収容施設等の重要施設までの配水管の耐震化を進め、災害時における安定給水を図ります。
	12	配水管整備事業	水道の安定給水を図るため、必要な配水管の整備を実施します。
下水道施設の耐水化	13	下水道施設耐水化事業	災害発生時における下水道施設の機能確保のため、下水道施設の耐水化を促進します。

### ③ 保健医療・福祉

施策項目	NO.	事業名	事業概要
外国人への支援	1	やさしい日本語での情報発信事業	やさしい日本語での「広報もりおか」や生活情報の発信や、盛岡国際交流協会が行う災害をテーマとするやさしい日本語でのボランティア研修会の開催を支援することでその普及に努め、災害時に有効な伝達手段としての活用を促進します。
	2	やさしい日本語でのボランティア研修支援事業	

### ④ 産業

施策項目	NO.	事業名	事業概要
物流機能の維持・確保	1	盛岡南地区物流拠点整備事業	開発事業者の募集・選定、土地利用に係る変更手続など、新たな産業等用地整備の趣旨に沿った整備を行うよう開発事業者の誘導を行うとともに、整備が円滑に推進されるよう支援を行います。
市場施設・設備の更新・修繕	2	盛岡市中央卸売市場施設・設備保全（長寿命化）事業	冷凍・冷蔵設備、昇降機等市場施設・設備等を実施、市場施設設備の長寿命化を図ります。
再生可能エネルギーの導入促進	3	住宅用太陽光発電システム等設置費補助事業	住宅に設置する太陽光発電システム等に補助金を交付し、自立分散型エネルギー供給体制の構築を推進します。
	4	公共施設への太陽光発電システム導入事業	市の施設に太陽光発電システムを率先導入し、自立分散型エネルギー供給体制の構築を推進します。
	5	木質バイオマスの普及促進事業	市の施設に木質バイオマス機器を率先導入するとともに、木質バイオマスマップの配布や啓発イベントによる市民、事業者への普及を図り、自立分散型エネルギー供給体制の構築を推進します。
適切な森林整備	6	森林整備事業（山村強靱化林道整備事業）	森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、造林や間伐等の森林整備の実施に補助します。
	7	森林・山村多面的機能発揮対策事業	森林の有する多面的機能を適切かつ十分な発揮を図るために活動を行う活動組織に対して交付金を交付します。
効率的かつ安定的な林業経営の確立	8	森林整備事業（山村強靱化林道整備事業）（再掲）	森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、造林や間伐等の森林整備の実施に補助します。（再掲）
地籍調査の実施	9	国土調査事業	被災後の復旧・復興を迅速に進めるため、国土調査法に基づく地籍調査を行い、土地の境界を明確にしておきます。

⑤ 国土保全・交通

施策項目	NO.	事業名	事業概要	
市街地の幹線道路や緊急輸送道路等の無電柱化	1	交通安全施設等整備事業 (岩手公園開運橋線(菜園工区))	市街地の幹線道路における無電柱化を進めるため、岩手公園開運橋線(延長330m、幅員15m(歩道延長660m、幅員3.0))の区間を整備します。 事業期間 H25~R7 全体事業費1,400,000千円	
	2	交通安全施設等整備事業 (南大通二丁目南大橋線)	市街地の幹線道路における無電柱化を進めるため、南大通二丁目南大橋線外(延長1,300m、幅員6.0m)の区間を整備します。 事業期間 H23~R11 全体事業費1,436,000千円	
幹線街路整備	3	街路事業 (盛岡駅南大通線) (大沢川原Ⅱ工区)	都市計画道路を整備し、道路網を確保するため、都市計画道路盛岡駅南大通線・大沢川原Ⅱ工区(250m、幅員28.0m)を整備します。 事業期間 R4~R14 全体事業費 1,835,000千円	
道路施設の防災対策	4	道路橋りょう維持管理事業	市道の維持管理全般を行う。落石や崩壊のおそれのある斜面等の対策の推進や、路面下空洞に起因する道路陥没被害を未然に防止するため路面下空洞化調査を実施します。	
	5	橋りょう維持補修事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行い、費用の縮減を図りつつ長寿命化し、橋梁構造及び道路ネットワークの安全性・信頼性を確保します。	
	6	市道舗装新設改良事業	新規市道認定路線等の未舗装道路の道路整備、狭あい市道促進事業に係る道路拡幅を伴う道路整備を行います。	
	7	市道舗装二次改築事業	舗装の更新により、市道舗装の耐久性の向上の確保、路面走行性の確保を行います。	
	8	踏切拡幅対策事業	通行者・通行車両の安全確保及び緊急車両の通行確保を行うため、踏切改良法に基づき、法指定された踏切の拡幅を行います。	
	9	土地区画整理事業 (道明地区)	都市計画道路等の公共施設の整備を行うとともに、住居系の地域としての健全な市街地の環境整備を行います。(施行面積 21.7ha)	
	10	土地区画整理事業 (都南中央第三地区)	JR岩手飯岡駅前広場や都市計画道路等の基盤を整備、狭あいな道路の解消や適正宅地の確保などを進めます。(施行面積 26.5ha)	
	11	土地区画整理事業 (太田地区)	太田地区は無秩序な市街地が進行し、防災・衛生面等の住環境の悪化が顕著化していたことから、土地区画整理事業により、狭あいな道路の解消や適正宅地の確保などを進めます。(施行面積 77.2ha)	
	12	住宅市街地総合整備事業 (太田地区)	太田地区土地区画整理事業と併せて、建物移転等の補償を促進し、住環境改善・防災性の向上等を図ります。(182棟)	
	13	市街地再開発事業 (中ノ橋通一丁目地区)	市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、中ノ橋通一丁目地区における民間の再開発事業の事業費の一部に対して、盛岡市市街地再開発事業補助金交付要綱に基づき補助を行います。(地区面積 約0.8ha)	
	土砂災害が発生するおそれのある斜面等の周知	14	急傾斜地崩壊対策事業	盛岡市内内で県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し、受益者負担金を負担し、危険箇所への対応を推進します。
	河川整備	15	都市基盤河川改良事業	地域の浸水解消及び河川管理の適正化の必要性から、一級河川南川の整備を計画的に実施します。
		16	準用河川改良事業	地域の浸水解消及び河川管理の適正化の必要性から、準用河川(下太田川、広川、木伏川外16河川)の整備を計画的に実施します。

施策項目	NO.	事業名	事業概要
土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定	17	土砂災害防止対策推進事業	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定に向け県と連携して対応します。
農山村地域における防災対策	18	農業基盤整備事業	農業基盤整備に係る県営事業等に対して事業費を一部負担及び補助します。
	19	ため池ハザードマップ作成業務	緊急時の迅速な避難行動につなげるため、ため池が決壊した場合の浸水想定区域等に係るハザードマップを作成します。
立ち往生車両の未然防止	20	道路除排雪事業	交通量が多く交通確保が必要な道路、公共施設に通じる路線、バス路線及び通学路において、除排雪作業を行うほか、主要交差点、急坂部等に凍結防止剤を散布します。
	21	除雪機械整備事業	冬期間の安全な交通環境を確保するための道路除排雪事業を適切かつ効率的に実施するため、特殊な除雪用機械の整備を行います。
道路の除排雪	22	道路除排雪事業（再掲）	交通量が多く交通確保が必要な道路、公共施設に通じる路線、バス路線及び通学路において、除排雪作業を行うほか、主要交差点、急坂部等に凍結防止剤を散布します。（再掲）
	23	除雪機械整備事業（再掲）	冬期間の安全な交通環境を確保するための道路除排雪事業を適切かつ効率的に実施するため、特殊な除雪用機械の整備を行います。（再掲）
市道の維持管理	24	道路橋りょう維持管理事業（再掲）	市道の維持管理全般を行う。落石や崩壊のおそれのある斜面等の対策の推進や、路面下空洞に起因する道路陥没被害を未然に防止するため路面下空洞化調査を実施します。（再掲）
	25	橋りょう維持補修事業（再掲）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行い、費用の縮減を図りつつ長寿命化し、橋梁構造及び道路ネットワークの安全性・信頼性を確保します。（再掲）
	26	街路樹等維持管理事業	街路樹の生育に伴う伐採、剪定等を行い、適切な維持管理を推進します。
	27	交通安全施設等整備事業	交通事故が多発している市道その他特に交通安全を確保する必要がある市道について、防護柵や照明灯などを設置し、交通環境の改善を行い、交通事故の防止を図るとともに、交通の円滑化を図ります。
	28	道路橋りょう災害復旧事業	市道の災害の速やかな復旧を図るため、調査、設計、工事等を行います。
都市計画道路における歩道整備	29	交通安全施設等整備事業 （岩手飯岡駅東西線自由通路）	代替え通学路として都市計画道路岩手飯岡駅東西線自由通路（113m、幅員4.0m）等を整備します。 事業期間 H26～R5 全体事業費2,306,000千円
	30	交通安全施設等整備事業 （本町通一丁目名乗沢2号線）（山岸二丁目第二工区）	通学路に指定されている都市計画道路の歩道整備を進めるため、本町通一丁目名乗沢2号線（342m、幅員3.0m）を整備します。 事業期間 R1～R7 全体事業費 414,000千円
災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの構築	31	道路橋りょう維持管理事業（再掲）	市道の維持管理全般を行う。落石や崩壊のおそれのある斜面等の対策の推進や、路面下空洞に起因する道路陥没被害を未然に防止するため路面下空洞化調査を実施します。（再掲）
	32	橋りょう維持補修事業（再掲）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行い、費用の縮減を図りつつ長寿命化し、橋梁構造及び道路ネットワークの安全性・信頼性を確保します。（再掲）

施策項目	NO.	事業名	事業概要
災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの構築	33	総務事務	道路維持に係る技術・知識の向上を図るため、必要な研修等を実施します。また、他市町村と連携し、道路整備促進に係る要望活動や研究会を実施します。
	34	広域圏道路新設整備事業 (津志田白沢線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、津志田白沢線(延長300m、幅員16.0m)を整備する。 事業期間 H22～R5 全体事業費542,000千円
	35	道路新設改良事業 (津志田白沢線第二工区外1路線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、津志田白沢線Ⅱ工区外1路線(延長1,860m、幅員16.0m)を整備する。 事業期間 R1～R12 全体事業費1,654,700千円
	36	交通安全施設等整備事業 (東中野門線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、東中野門線(延長710m、幅員9.0m)を整備する。 事業期間 H20～R6 全体事業費714,350千円
	37	交通安全施設等整備事業 (東中野14号線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、東中野14号線(延長1,030m、幅員9.5m)を整備する。 事業期間 H10～R6 全体事業費692,000千円
	38	交通安全施設等整備事業 (谷地頭線外1路線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、谷地頭線外1路線(延長990m、幅員14.0m)を整備する。 事業期間 H27～R9 全体事業費1,479,000千円
	39	交通安全施設等整備事業 (下田生出線下田工区)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、下田生出線(下田工区)(延長1,110m、幅員9.0m)を整備する。 事業期間 H28～R7 全体事業費432,109千円
	40	交通安全施設等整備事業 (三本柳線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、三本柳線(延長507m、幅員9.5m)を整備する。 事業期間 H25～R6 全体事業費439,000千円
	41	交通安全施設等整備事業 (永井街道線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、永井街道線(延長340m、幅員12.0m)を整備する。 事業期間 H28～R6 全体事業費318,000千円
	42	交通安全施設等整備事業 (柴沢下田線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、柴沢下田線(延長1430m、幅員7.5m)を整備する。 事業期間 H24～R7 全体事業費830,000千円
	43	交通安全施設等整備事業 (愛宕町三ツ割線 (山岸四丁目))	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、都市計画道路愛宕町三ツ割線(260m、幅員12m)を整備する。 事業期間 R1～R10 全体事業費562,000千円
	44	交通安全施設等整備事業 (渡船場線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、渡船場線(延長700m、幅員9.0m)を整備する。 事業期間 R5～R12 全体事業費500,000千円
	45	交通安全施設等整備事業 (津志田下飯岡線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、津志田下飯岡線(延長356m)を整備する。 事業期間 R6～R12 全体事業費1,150,000千円
	46	交通安全施設等整備事業 (下太田上太田5号線)	幹線道路(代替補完路)の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、下太田上太田5号線(延長510m、幅員8.0m)を整備する。 事業期間 R2～R7 全体事業費250,000千円

施策項目	NO.	事業名	事業概要
廃棄物処理施設の老朽化対策	47	クリーンセンター施設改修事業	盛岡市クリーンセンター等(ごみ焼却施設、松園定点観測所、上米内定点観測所)を適正に維持するため計画的な修繕を実施します。
廃棄物処理施設の老朽化対策	48	リサイクルセンター施設改修事業	リサイクルセンター(破碎処理施設、資源ごみ分別作業所、埋立処理施設、汚水処理施設など)を適正に維持するため計画的な修繕を実施します。
廃棄物処理施設の老朽化対策	49	玉山廃棄物処分場施設改修事業	玉山廃棄物処分場(汚水処理施設など)を適正に維持するため計画的な修繕を実施します。
公共交通、地域内交通の維持確保・体制整備	50	公共交通維持支援事業	安定した運行継続のため、バス事業者などの交通事業者に対して支援金を支給します。
アスベストのばく露防止対策	51	災害時のアスベストばく露防止対策事業	「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」に基づく解体方法等を市公式ホームページ等により周知するなど、ばく露防止対策を推進します。
地域内交通の維持確保	52	地域内交通導入モデル事業	公共交通が利用できない交通空白地において、地域や地区の交通の拠点(交通結節点)に連絡する交通サービスの確保・導入について検討します。

■ **横断的分野** (※リスクシナリオごとの対応方を横断的分野ごとに再整理したもの)

⑥ **リスクコミュニケーション**

施策項目	NO.	事業名	事業概要
内水ハザードマップの作成	1	内水ハザードマップ作成	未策定地域の内水ハザードマップ作成及び市民への周知の徹底を推進します。
農山村地域における防災対策	2	ため池ハザードマップ作成業務	緊急時の迅速な避難行動につなげるため、ため池が決壊した場合の浸水想定区域等に係るハザードマップを作成します。
学校防災体制の確立	3	復興教育支援事業	いわての復興教育プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成します。
学校における継続的な防災訓練や防災教育等の推進			
「いわての復興教育」【そなえる】を核とした防災教育の推進			
市総合防災訓練の実施による関係機関との連携	4	総合防災訓練実施事業	大規模地震等による災害を想定し「盛岡市総合防災訓練」(災害対策基本法及び盛岡市地域防災計画に基づき、地域住民参加のもとに、防災関係機関が一体となって、総合的かつ実践的な訓練を行うもの)を実施します。
外国人への支援	5	やさしい日本語での情報発信事業	やさしい日本語での「広報もりおか」や生活情報の発信や、盛岡国際交流協会が行う災害をテーマとするやさしい日本語でのボランティア研修会の開催を支援することでその普及に努め、災害時に有効な伝達手段としての活用を促進します。
	6	やさしい日本語でのボランティア研修支援事業	
アスベストのばく露防止対策	7	災害時のアスベストばく露防止対策事業	「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」に基づく解体方法等を市公式ホームページ等により周知するなど、ばく露防止対策を推進します。

⑦ 老朽化対策

施策項目	NO.	事業名	事業概要
公共施設の老朽化対策	1	アセットマネジメント推進事業	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画及び実施計画に基づき、長寿命化工事等の進捗管理を行い、施設保有の最適化と長寿命化の推進を図ります。
	2	公営住宅ストック総合改善事業（再掲）	老朽化した公営住宅ストックについて、効率的かつ円滑的な更新を実現するため、予防保全的な維持管理を推進することを目的とした「盛岡市市営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕を継続して行い、将来に向けたライフサイクルコストの削減を図ります。
道路施設の防災対策	3	道路橋りょう維持管理事業	市道の維持管理全般を行う。落石や崩壊のおそれのある斜面等の対策の推進や、路面下空洞に起因する道路陥没被害を未然に防止するため路面下空洞化調査を実施します。
	4	橋りょう維持補修事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行い、費用の削減を図りつつ長寿命化し、橋梁構造及び道路ネットワークの安全性・信頼性を確保します。
	5	市道舗装新設改良事業	新規市道認定路線等の未舗装道路の道路整備、狭あい市道促進事業に係る道路拡幅を伴う道路整備を行います。
	6	市道舗装二次改築事業	舗装の更新により、市道舗装の耐久性の向上の確保、路面走行性の確保を行います。
道路施設の老朽化対策	7	道路橋りょう維持管理事業（再掲）	市道の維持管理全般を行う。落石や崩壊のおそれのある斜面等の対策の推進や、路面下空洞に起因する道路陥没被害を未然に防止するため路面下空洞化調査を実施します。（再掲）
	8	橋りょう維持補修事業（再掲）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行い、費用の削減を図りつつ長寿命化し、橋梁構造及び道路ネットワークの安全性・信頼性を確保します。（再掲）
災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの構築	9	道路橋りょう維持管理事業（再掲）	市道の維持管理全般を行う。落石や崩壊のおそれのある斜面等の対策の推進や、路面下空洞に起因する道路陥没被害を未然に防止するため路面下空洞化調査を実施します。（再掲）
	10	橋りょう維持補修事業（再掲）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行い、費用の削減を図りつつ長寿命化し、橋梁構造及び道路ネットワークの安全性・信頼性を確保します。（再掲）
	11	総務事務	道路維持に係る技術・知識の向上を図るため、必要な研修等を実施します。また、他市町村と連携し、道路整備促進に係る要望活動や研究会を実施します。
	12	広域圏道路新設整備事業 （津志田白沢線）	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、津志田白沢線（延長300m、幅員16.0m）を整備する。 事業期間 H22～R5 全体事業費542,000千円
	13	道路新設改良事業 （津志田白沢線第二工区外1路線）	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、津志田白沢線Ⅱ工区外1路線（延長1,860m、幅員16.0m）を整備する。 事業期間 R1～R12 全体事業費1,654,700千円
14	交通安全施設等整備事業 （東中野門線）	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、東中野門線（延長710m、幅員9.0m）を整備する。 事業期間 H20～R6 全体事業費714,350千円	

施策項目	NO.	事業名	事業概要
災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの構築	15	交通安全施設等整備事業 (東中野14号線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、東中野14号線(延長1,030m、幅員9.5m)を整備する。 事業期間 H10~R6 全体事業費692,000千円
	16	交通安全施設等整備事業 (谷地頭線外1路線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、谷地頭線外1路線(延長990m、幅員14.0m)を整備する。 事業期間 H27~R9 全体事業費1,479,000千円
	17	交通安全施設等整備事業 (下田生出線下田工区)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、下田生出線(下田工区)(延長1,110m、幅員9.0m)を整備する。 事業期間 H28~R6 全体事業費432,109千円
	18	交通安全施設等整備事業 (三本柳線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、三本柳線(延長507m、幅員9.5m)を整備する。 事業期間 H25~R6 全体事業費439,000千円
	19	交通安全施設等整備事業 (永井街道線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、永井街道線(延長340m、幅員12.0m)を整備する。 事業期間 H28~R6 全体事業費318,000千円
	20	交通安全施設等整備事業 (柴沢下田線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、柴沢下田線(延長1,430m、幅員7.5m)を整備する。 事業期間 H24~R7 全体事業費830,000千円
	21	交通安全施設等整備事業 (愛宕町三ツ割線 (山岸四丁目))	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、都市計画道路愛宕町三ツ割線(260m、幅員12m)を整備する。 事業期間 R1~R10 全体事業費562,000千円
	22	交通安全施設等整備事業 (渡船場線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、渡船場線(延長700m、幅員9.0m)を整備する。 事業期間 R5~R12 全体事業費500,000千円
	23	交通安全施設等整備事業 (津志田下飯岡線)	幹線道路の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、津志田下飯岡線(延長356m)を整備する。 事業期間 R6~R12 全体事業費1,150,000千円
	24	交通安全施設等整備事業 (下太田上太田5号線)	幹線道路(代替補完路)の改良を行い幹線道路のネットワーク化を図るため、下太田上太田5号線(延長510m、幅員8.0m)を整備する。 事業期間 R2~R7 全体事業費293,000千円
水道施設の計画的な老朽化対策・耐震化対策	25	上水道安全対策事業	浄水場水系間の相互応援を図る連絡管の整備を行なうとともに、長時間の停電にも対応できるよう浄配水場等施設の自家発電設備の整備を進めます。また、医療機関・要援護者収容施設等の重要施設までの配水管の耐震化を進め、災害時における安定給水を図ります。
	26	配水管整備事業	水道の安定給水を図るため、必要な配水管の整備を実施します。
市場施設・設備の更新・修繕	27	盛岡市中央卸売市場施設・設備保全(長寿命化)事業	冷凍・冷蔵設備、昇降機等市場施設・設備等を実施、市場施設設備の長寿命化を図ります。
廃棄物処理施設の老朽化対策	28	クリーンセンター施設改修事業	盛岡市クリーンセンター等(ごみ焼却施設、松園定点観測所、上米内定点観測所)を適正に維持するため計画的な修繕を実施します。
	29	リサイクルセンター施設改修事業	リサイクルセンター(破碎処理施設、資源ごみ分別作業所、埋立処理施設、汚水処理施設など)を適正に維持するため計画的な修繕を実施します。
	30	玉山廃棄物処分場施設改修事業	玉山廃棄物処分場(汚水処理施設など)を適正に維持するため計画的な修繕を実施します。